

会 議 録

1. 会議名

第6回仙北地域協議会

2. 議題（公開・非公開の別）

- (1) 地域協議会提案事項の報告
 - 一時保育について（公開）
 - 体育館新築について（公開）
- (2) 大仙市総合計画について
- (3) その他

3. 開催日時

平成18年3月29日（水）午前10時より

4. 開催場所

仙北総合支所中会議室

5. 傍聴人の数

0人

6. 出席したものの氏名

委員：池田佐喜男、池田武、大澤隆夫、熊谷政子、黒澤三郎、小林千歳
小松田有佳、小柳都、佐々木忠雄、佐藤昇、佐藤力哉、進藤豊和
竹村正資、千葉嗣助、原松男、茂木保治
（委員16名の出席、欠席2名）

本 庁：栗林市長、佐々木企画部長、小松総合政策課長、菅原地域づくり課長
秘書広報課小野地主幹、総合政策課相馬副主幹、地域づくり課佐藤主事
仙北総合支所：藤肥支所長、川越次長、熊谷地域振興課長
地域振興課田口副主幹、同池田主事

7. 発言内容

地域振興課長

【開会】

第 6 回仙北地域協議会の開会を宣告

会 長

【会長あいさつ】

おはようございます。まずは、昨日秋田商業が勝ってえがったなぁということで、また WBC で日本が世界一になり、各団体がそれぞれの分野で真っ直ぐ突き進んで勝利を勝ち取ったということは、本当に素晴らしい事だと思います。

わが地域協議会も大仙市のため、仙北地域のために力を尽くしていくことで少しでもみんなのためになればと考えております。

こういったことで、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。今日も長時間になるとおもいますが、だいたい 1 2 時ころを目処に進めてまいりたいとおもいます。よろしくお願い致します。

市長

委員の皆さまには地域自治区の設置により、地域協議会を置くこととなり、全国的にも先例の少ない状況の中、「住民の行政参画」「住民との協働」の趣旨をご理解され、お忙しい中月一回のペースの開催に対しましてご協力を賜りまして衷心より感謝申し上げます。

今年の冬は、大雪に見舞われ大仙市管内では、死者 4 名負傷者 3 6 名の人的被害のほか住家や農業施設に多大な被害を受けました。

市では、1 月 1 0 日に豪雪対策本部を設置し、相談体制など早めに取り組み、市民生活に支障がないよう努めたところであります。この間、JA 秋田おぼこの職員や市内小中学生による除雪ボランティア、総合支所ごとに除雪隊を編成し、公共施設や一人暮らし高齢世帯の雪下ろし等を実施いたしました。

さて、大仙市は、昨年 3 月 2 2 日に新たな地方自治を構築するため、8 市町村で市町村合併に取り組み誕生し 2 年目を迎えております。

私は、昨年 4 月初代大仙市長に就任以来、「市政は住民のために」を基本理念とし、職員が常に市民の目線に立った体制づくりに努めて参りました。平成 1 8 年度におきましてもその姿勢を変えることなく市政運営に努めてまいります。

また、総合計画の初年度となります、平成 1 8 年度を「人が活き人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向かって着実な一歩を踏み出してまいりたいと存じます。

大仙市の目玉事業として実施しております、小学校卒業までの「医療給付扶助」や満 2 歳未満児への「すこやか子育て手当金支

給事業」を、今後も継続できるよう制度の見直し図りながら実施してまいりたいと存じます。

また、高齢化の顕著な地域事情に沿った「介護予防事業」や「高齢者支援策」を進めてまいりたいと存じます。

さらには、仙北組合総合病院の早期移転新築問題に積極的に取り組むとともに一般廃棄物最終処分場などを完成させ、安全で安心な暮らしの基盤を構築してまいります。

真木ダム代替案につきまして、2月1日にプロジェクトチーム会議としての意見が纏まり、2月10日、県より私に報告があったところであります。

治水対策につきましては、斉内川の河道改修により、事業着工から概ね10年で治水安全度20分の1を確保し、将来的には遊水池又は放水路で治水安全度50分の1を確保するとするものであります。

水道水源につきましては、斉内川は年間を通して水量を確保することが難しく、水利権を確保することが困難なこと、玉川の伏流水、仙北南地区へ供給する大曲地域の水道水及び地下水の三案については水質に問題がなく、水道水源として可能であると報告を受けております。

大仙市は、総合計画の前期五カ年を市全体のバランスを考慮しながら各分野に於ける重要課題の解決に向けて努力してまいります。

平成18年度から地域振興事業、いわゆる地域枠事業を実施いたします。地域振興事業は、総合支所が地域協議会委員の皆さまとの協議により、自主的・主体的な課題に対し、現地即決対応するための事業です。

平成18年度当初予算は、市税収入が低い水準にあることや合併支援補助金の減など歳入全体の伸びが期待できないことからたいへん厳しい編成となりました。予算編成にあたっては、真に必要な事業費をゼロから積み上げ、優先順位等について、大仙市として統一した考えの基で検討してまいります。

こうした状況の中、仙北地域における主要事業といたしまして、安全で安心な水の供給するため、仙北南地区簡易水道総合整備事業・川前地区簡易水道区域拡張事業・払田地区総合簡易水道事業を計画いたしております。また、仙北ふれあい公園事業を平成22までに完成の予定であります。

平成19年度秋田わか杉国体の軟式野球会場として決定している市営仙北野球場改修工事につきましては、メインスタンドの痛みが激しく外壁等の改修をするものでございます。更に仙北地域内4.8kmは、自転車ルートレースのコースにもなっております。

ので、開催に向けてロードコースの道路整備を行ってまいりたいと考えております。払田柵跡が国体聖火の採火地となっておりますので、地域の皆さまのご協力をいただき素晴らしい成功を収められますようよろしくお願いいたします

継続事業であります。払田柵跡環境整備事業と国指定名勝の池田氏庭園整備事業を実施し市民の文化意識の高揚と啓発を図ってまいりたいと考えております。

以上、総合計画の将来都市像の実現に向けて、住民と行政の連携・協働による新たなまちづくりを皆さまとともに進めてまいりたいと存じますのでこれまで以上のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域振興課長

本日の地域協議会は、委員の2分の1以上が出席しておりますので大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規程により、本協議会は成立いたしますことをご報告申し上げます。それでは、議事の進行は会長の方からお願いします。

会 長

議事にいる前に議事録署名員の指名をいたします。佐藤昇委員と茂木保治委員をお願いします。

また、戸澤委員と進藤委員から欠席の連絡が入っております。それでは、次第4の提案事項の報告についてですが、等協議会からは、2件の提案をしております。1件目の一時保育については、保護者が様々な都合により、一時保育を希望した場合、保育園の都合で断られることが度々あったので、一時保育の目的からしても、他の保育園を紹介するなど、出来る限りの処置を講じていただきたいという提案でございました。これについて、市長の方から回答をお願いいたします。

市 長

一時保育のことにつきましては、私の方からご説明申し上げたいと思います。その前に、せっかく素晴らしい保育園が出来ましたが、たいへんな豪雪で雪国対応が出来ていなかったのかなという反省がありました。最新の保育園が雪のトラブルにあったことをお詫び申し上げます。雪も解けて来ましたので、原因は別にしても壊れたところを今年の冬に向けて補修していくことですが、6月の補正等で考えております。

一時保育につきましては、常時やっていることになっているのですが、大曲地域では対応が出来ておりましたが、他の地域では対応が出来ていないところもあったようです。18年度からきちり受入体制を整えたいと思いますので、いろいろ制度の調整を行っているところです。行事で対応出来ないこともあるようです

ので、その場合は太田でも中仙でも大曲でもいいことですので、そういうところで対応していただきたいと思います。また病気回復期に保育園に行けないことがあります。この問題につきましてでも病後時保育とっておりますが、大曲地域で吉村クリニックへお願いして実施しております。非常に需用が多いようであります。大仙市としてはもう1カ所くらい用意しなければと思っています。以上回答とさせていただきます。

会 長

ありがとうございました。ただいま市長の方から回答をいただきましたがこれについてご質問やご意見はありませんか。池田委員何かありませんか。

池田委員

特にありません。

会 長

小松田委員何かありませんか

小松田委員

私が提案した案件でしたが、各園で利用しやすいようにしていただきたいと思います。

会 長

他に何か。小柳委員いかがですか。

小柳委員

子どもが病気の時保育園にはいけないので、そえいうところがあれば便利だと思います。是非もう一カ所作っていただきたいと思います。そうすれば親も安心して仕事に行けると思います。

会 長

他に何か。

市 長

旧大曲では、小児科の先生とご相談して医院に別建ての建物を造って、あとこちらから一定の補助をしてやつていただいております。病院型と保育園型というのがあって、保育園でお医者さんと提携してやっているのもでわれわれは病院型がいいのではとやっているわけです。医師会と相談しながらもう一カ所作りたいと思いますが、もう少し時間をいただきたいと思います。

会 長

ありがとうございました。他に何かありますか。小林委員なにか

小林委員

無いことだと思いますが、もしも事故などがあった場合は、保険とかの対処はしていただけるものでしょうか。

市 長

これは国の事業で正式には乳幼児預かり事業という制度でやっ

ておりますので大丈夫です。

会 長

他に何かありますか。無いようですので提案事項2ほうへ移ります。これについては、現在の体育館の老朽化により、住民の念願であった体育館建設を合併前の計画とおり、観覧席や表彰式の出来るようなスペースのある体育館の整備をお願いしたいというものです。これについて、市長からお願いします。

市 長

たいへん厳しいご指摘ですが、市が進めていく施設に関しては、既存の施設を踏まえたうえで、その活用形態を全市的な立場から位置づけをし、位置・規模・グレードなどを定めて整備していく方針です。体育館についても同様の見地から全市的な行事に使用するもの地域の交流などに活用する施設とその位置づけにより整備されていくものです。当仙北地域で計画された体育館は旧仙北町を代表する体育館として、当初の計画段階では観覧席やステージを備えたものでしたが合併に伴って、全市の見地から再検討により、地域の体育館という位置づけに変更されたものです。他の体育館との調整を図りながら、計画の変更をお願いしたものであります。今後将来という考え方ですが、大仙市が一段落した後のことですが、少し先のことになることと思っております。従いまして現時点では利用する人を主体とした施設の整備をしたいと思っております。足りない部分につきましては、地域の皆さまの創意工夫により、体育館の運営をお願いしたいと思っております。この体育館については、合併前からさまざまな協議をおこなって国の制度を使っていくので、何とか早くやれる制度として、都市計画状の位置づけをしながら、その補助制度でやるのが一番いいのではという結論に達した訳です。大曲の都市計画の飛び地という位置づけで都市計画関係の補助をいれながら、現在の体育館は非常に古いということを知っておりますので早くやろうと合併前から大曲の都市計画審議会の中に、このふれあい公園の問題を入れて検討した経緯があります。その際体育館の規模も一定のものが必要だということでしたが、図面を見てあまりに立派な体育館でびっくりいたしました。地域とその周辺の皆さんがいかに有効に利用していただくかという支店で建てていくべきものでないかと考えております。協和の体育館も着工しておりますが、そういう考え方で協和地域や隣接する西仙のみなさんを含めた体育館ということで調整させていただきました。それぞれの地域でしっかりとした体育館を一つ持ちながら、それがそろった段階で大仙市としての競技イベントを誘致できるような体育館をこれから考えていかなければならないと考えております。

会 長

ありがとうございます。あくまでも仙北地域の体育館という考え方の体育館だということですが、何かご意見はありませんか。

進藤委員

結論的にいうと観覧席は不可能ということで、前に示していた計画でないと駄目だということでしょうか。われわれ体育関係者で一番望んでいるのは、県南大会開催だとかいわれた場合、場所がくて困っているわけですが、今後時間がかかるにしても大きな体育館ができるだろうということで安心いたしました。地域として立地条件が大仙市の中で当地域が一番条件が良いと考えております。前に西仙の体育館の中を見ましたが、行政主体で作ったものでバスケットのリングが上下できなくて、子どもなどほとんど活用出来ないということでした。せっかく作っても活用できないものであれば残念ですので、実際に使用する人たちの意見を聴きながら整備してもらいたいと思います。

市 長

せっかく新しくする体育館ですので、面についてはバスケットコート2面は十分あると思います。さまざまな工夫をして子どもから高齢者まで使用出来るよう体育関係者と協議をしながら設計を含めて、総合支所のみなさんと協議をしてやることによって出来るのではないかと思います。その中で多少かかり増しになるということは仕方ないことでもあります。作ったあとで手直しするというののないよう利用価値の高いものにしていただきたいと思います。仙南に立派な体育館がありますので、ここを大きな大会の拠点としていってもいいのではないかと考えています。われわれはもう少し時間が経ってから、アクセスの問題もありますのでふれあい公園の場所はバイパスからも近いので地域のみなさんはすごく便利だといいますが、他の方からきた人たちは不便な場所だということもあるようです。道路が変則ですのでアクセスの問題も含めて考えていかなければならないと思います。

会 長

他に何かありませんか。池田(佐)委員。

池田(佐)委員

大曲仙北では、ソフトテニスが非常に盛んで、先日監督と話す機会がありました。そのとき、全県大会などは無理としても大曲仙北地区大会や県南大会などが開催できるように作ってもらいたいなあと話していました。最初は建設計画の中に入っていたのが、変更になってそれができなくなってしまうという話を聞いておりました。先ほど市長さんの話を聞いて変更した計画が決定したのではなく、これから話し合っ直すところは直していく、少し

予算がかかり増しになっても利用しやすいようになっていくだろうということで安心しましたが、市民の目線に立った利用しやすい体育館を造っていただきたいと思います。

会 長

はい、ありがとうございます。市長さん何かありませんか。

市 長

全体の財政力を考えて計画していかないといけないので、青写真の段階でどのような説明をされてきたのかということです。それぞれの身の丈というものがあると思います。どこの地区にも大きな大会ができるような施設を作ってしまうと利用率の問題が出てきます。大仙市になりましたので、どこかひとつきちっとしたもの、あとは地域のみなさんが使いやすいものがあればいいと考えております。あとは、役所の中で役所の頭で考えてものではなく、中身の問題、いろんな工夫を取り入れるということ、利用するみなさんが一番分かるのですから、利用度の高いものができるのではないかと思います。そういう面で費用が少しかかり増しになることは仕方ないことですので、支所と地域のみなさんの声が反映されるような施設を考えていただきたいなと思います。

大澤委員

先ほど市長さんから体育館の説明がありまして、地域の体育館として大仙市の代表となるような体育館をと最初にありましたが、用地なんかもだいたい決まっていると合併前から聞いておりましたが、今話を聞くと図面も引いていないのが現状のようです。いつ着工していつ完成するという計画はないのでしょうか。

市 長

公園の全体の計画は出来ております。それをみなさんへ説明していませんか。

地域振興課長

ふれあい公園の計画でございますけれども、平成 18 年度に体育館の実施設計に入ることでございます。次に、19・20 年度と建設を行っていくこととなります。大澤委員がおっしゃっているのは、大仙市としての大きな体育館をどのように計画しているのかという質問ですか。

大澤委員

はい、わかりました。

会 長

次に、総合計画の説明に入ります。

総合政策課長

【資料により説明】

会 長

何か質問はありませんか。

財政計画のことでちょっと、歳出の方は職員の減少を加味していると思いますが。

総合政策課長

大仙市は非常に多くの職員を抱えております。将来的に標準的な規模に減らすということでその作業を進めております。当初は、退職者の3分の1を補充するという計画を持ってありますが、この財政見通しはそれ以上の削減の見通しを考えております。

会 長

他に何か。

大澤委員

今、大仙市で臨時職員は何人おりますか。

総合政策課長

臨時職員の資料を持ってきておりませんが、今年度から臨時職員に対する考え方をかなり厳しくしております。事務レベルでの雇用はしない、特殊な事情のある業務以外の臨時職員はできるだけ雇用しないことで人件費の削減を図っております。

市 長

800人を超えております。施設関係の職員を含めまして、大仙市全体の職員は1,400人という数字になります。800人を超える臨時職員の皆さんを雇用していることです。

会 長

他に何かありませんか。千葉委員、いかがですか。

千葉委員

中心地域からまっすぐ仙北地域に入ってくる道路の整備をお願いしたいと思います。黒瀬の踏切の辺りの計画はどうなっているのですか。

総合政策課長

今、駅前の区画整理事業を進めております。その事業の中で、今は変則的なグランマートさんから真っ直ぐの道路がありますが、あの道路が延長しましてトンネルで仙北の方へ入ってくるというような計画がされております。5年くらいの事業スパンで考えておりますので、できるだけ早い機会に仙北地域から大曲へ真っ直ぐ入れる道路ができると思います。

進藤(豊)委員

水の問題ですが、前回の協議会の中で、下水道の方は順調に進んでいるようですが、上水の方は仙北地域の場合100%地下水で対応できる地域だということでしたが、ひとつ聞きたいのはその中で簡易水道の方もいるわけですが、その方々はきれいな水を供給できるのですが、それ以外の方は各自で井戸を掘って地下水を

汲み上げて使っていると思います。水質がいいと問題ないのですが、せっかく下水枡をいれても水質が悪いとトイレがすぐ汚れますので、上水道を急いでほしいという要望です。市でボーリングなりした場合、従来の井戸水を使っている方に影響はないものか心配です。簡易水道を使っている人がどれくらいあるか、また個々の水道を使っている人がどれくらいあるか、また個々の水道を使っている人がどれくらいなものか教えていただきたい。

会 長

市長お願いします。

市 長

今日は水道局来ていませんが、仙北地域は高梨・橋本など昔から井戸を掘っても水が出てこないそういう地層だということでした。川口川だと場所によっては良い所もありますが、仙北地域は自分の家の井戸と小さい簡易水道組合の組み合わせでやっています。簡易水道もある程度の規模にならないとしっかりしたのができないので、大曲の余裕水を使ってこちらに入ってきているのは、簡易水道組合事業の統合というかたちで計画を立てて進めております。いずれにしても真木ダムの代替の地下水源のかなり深い場所、既存の井戸には影響ないという結果が出ております。一般の家庭では影響ありません。いずれにしましても、大仙市全体の水道計画を作らなければなりませんので、どういう水の利用方法があるかということをも具体化していかなければならないと思っております。

大仙市としても水道事業は重要な問題だと思っておりますので、集落排水のうほうはこの地域はほとんど完了してきております。急がなければならないのは上水道の関係だと考えております。

会 長

よろしいですか。

熊谷委員

具体的な要望というわけではありませんが、例えば職員が削減されるということは何の異論もないのですが、もうひとつの大きな希望として地元での雇用拡大が少なくなるなという感じがします。企業誘致なども含めて鋭意努力をされて、子供たちに地元に残ってほしいと考えますのでよろしく申し上げます。

市 長

雇用の問題につきましては、自治体も雇用の一部を担うわけですが、そこに過度の期待をかけてしまうと自治体そのものが立ちゆかなくなるということです。もうひとつ工業の面でも、雇用の場を作っていかなければならないわけですが、一部難しいものがありますが、製造業、企業の拡大に入ってきている企業がありま

す。一時海外にという考えもあったのですが、最近国内回帰という傾向にありまして、間もなく大曲地域では新しい企業が操業いたします。四ツ屋のセイコーの会社を買っていただいて企業の拡大に取り組んでおります。また、福祉関係でも新しく特別養護老人ホームが建設される予定です。市の用地を貸して50床規模の施設ができるところです。雇用の場ができてくると思います。若い人が仕事がないと後継者がいないことになりますので、全市を挙げて取り組んでいかなければならないと考えております。

会 長

ありがとうございました。他に何かありませんか。池田委員。

池田(佐)委員

大仙市で一番懸念されることは交付税の減収だということですが、その原因は人口減少だと。先ほどの説明では10年間に1万人の減少という予想のもとにこの計画が立てられたことでしょうか、例えば小学生であれば医療費が無料とか、子供が生まれても大丈夫なような施策があるわけですが、この計画の中に人口の減少に歯止めをかけるような施策が載っているものかどうか。

総合政策課長

4ページの重点的3つの取り組みというところがあります。10年間で重点的に取り組む3つの中で、若い世代の子育てを支援していくという施策があります。できるだけ若い方が子育てに負担にならないようにしていきたい。

もうひとつは若い方々の雇用の確保ということで、できるだけここで生まれた方がここで育っていく環境をつくって、人口の確保を図ってまいりたいと考えております。3つの重点事項の中で2つはそのような観点から作られたのもですので、ご理解いただきたい。

会 長

よろしいですか。ないようですので、大仙市総合計画についてこれで終わります。

続いて6番のその他に入ります。何かありませんか。佐々木委員どうぞ。

佐々木委員

19年度から農政が大幅に変わるわけですが、農協さんなんかの座談会では市としてもそのことに関しての説明班みたいなものを立ち上げるということでしたが、あるものでしょうか。何月頃になるものでしょうか。

市 長

農政の大転換のことですが、冬場にそれぞれの支所で説明してきているはずですが、この地域で集落営農という仕組みをしっかり

させて、これからの受け皿をつけていかなければならないということで、大仙市としては単独の事業ですけれども5人の農業・農政に詳しい方といえますか、こういう分野をやってきた方を特別な形で嘱託職員として3年間お願いして、実際に集落の中に入って行ってリーダー的な人たちと一緒に組織を立ち上げてお手伝いしたい。太田の新規就業者の支援センターに農業情報センターがありますが、あそこを拠点としてそれぞれの地域を担当していただいて、土日関係なく集落の相談を受けていくということを考えており、18年度から始まります。県としても振興局の中に推進チームを設置していくことになっていますし、JAでも対応しますし、この5人揃って説明に歩くということはないことになっております。直接集落に入っていくということになります。

会 長

ありがとうございます。今、12時で時間ですが、質問もありますので10分程度の延長をお願いします。池田委員。

池田(武)委員

関連ですけど、農協でも説明会をしておりますが、若い人たちの参加が少ないですね。まだ具体的な数字が出てこないで参加者も少ないし、内容も密にならないということがあると思います。今年本格的に進んだのは正月過ぎだったのですが、この秋までには行政と団体ともっと密にして決めてもらいたいと思います。

市 長

説明会は、何回説明しても進んでいかなければならないもので、県も5割くらいの集落営農にしていかないと大変なことになると言っております。説明会は説明会として、やろうとする人たちを正確につかんで、具体化のお手伝いをするという人たちを5人別立てで用意しまして、一般の説明会は行政もJAもやっていかなければならないのですが、具体化する部分をどこかがやらなければならないという問題意識で、振興局でも県職員でやれそうな人を配置すると言っております。

会 長

他に何か。ないようですので、これで第6回地域協議会を終了いたします。

【12時10分閉会】